

奄美大島に所在する国有林の自然特性等について(1/3)

区 分	奄美市(旧名瀬市)	奄美市(旧住用村)	大和村	宇検村	瀬戸内町
国有林の面積	431.94ha	1734.91ha	22.12ha	871.23ha	957.93ha
国有林の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・金作原国有林(202・203林班、290.76ha)はまとめて所在 ・上記以外は小団地で点在 	<ul style="list-style-type: none"> ・神屋国有林をはじめとする大和村及び宇検村に隣接する国有林(208、210～213林班、696.82ha)はまとめて所在 ・204林班が金作原国有林(旧名瀬市)、217林班が八津野国有林(瀬戸内町)にそれぞれ隣接 ・上記以外は小団地で点在 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳周辺に所在(230林班の一部、22.12ha) 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳(694m)周辺にまとめて所在(230林班の大半を占め145.02ha) ・河内川中下流域にまとめて所在(227～229林班、444.68ha) ・上記以外に2林班が別々に所在 	<ul style="list-style-type: none"> ・八津野国有林等が役勝川(やくがちがわ)の上流域にまとめて所在(218～223林班、799.38ha) ・嘉徳川(かとくがわ)の右岸側に2つの小団地が所在(224林班、108.5ha)
主な山岳と標高300m以上の箇所並びに主な河川	<ul style="list-style-type: none"> ・金作原国有林のうち、松長山(455m)からのびる稜線付近が標高300～400mに位置 	<ul style="list-style-type: none"> ・神屋国有林をはじめとする大和村及び宇検村に隣接する国有林は、ヤクガチヨボシ岳(441m)とタカバチ山(485m)からそれぞれのびる稜線付近が標高300～500mに位置。また、住用川が国有林を南北に横断 ・204林班のうち、松長山(455m)からのびる稜線付近が標高300～400mに位置 ・214・215林班は、滝鼻山(482m)周辺に所在し、その半分が標高300～500mに位置 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳から北東側に続く尾根部の標高400～600m付近に位置 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳周辺の国有林は標高400m以上に位置 ・河内川が227・228林班と229林班を二分する形で流れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・役勝川上流部の国有林のうち、烏帽子山(371m)からのびる稜線付近が標高300～400mに位置
林種	<ul style="list-style-type: none"> ・天然林が多く(267.04ha)、人工林(164.90ha:スギ118.42ha、リュウキュウマツ46.48ha)はそれほど多くない ・金作原国有林の人工林は北部に集中している 	<ul style="list-style-type: none"> ・神屋国有林を中心にほとんどが天然林(1568.85ha)で、人工林は166.06ha(スギ129.76ha、リュウキュウマツ36.30ha)と少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・全て天然林 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳周辺は天然林 ・湯湾岳周辺以外の国有林も天然林が多くを占め(天然林の中には、かつて人工造林したものの、広葉樹の侵入により混交林化したものを含む)、人工林(スギ66.02ha、リュウキュウマツ88.39ha)は155.11haと少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・役勝川上流部の国有林は天然林が約5割(322.17ha)、リュウキュウマツやスギの人工林も約5割(388.58ha) ・嘉徳川の2小団地は、ほとんど天然林(108.05ha)
林齢	<ul style="list-style-type: none"> ・金作原林道周辺(202・203林班の上部、概ね60年生以上が174.86ha)、沢沿いや尾根部等は高齢天然林 ・上記以外は、30～40年生の二次林、人工林が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・神屋林木遺産資源保存林(155.78ha)、沢沿いや尾根部等は林齢120年生以上の高齢天然林 ・上記以外は、20～30年生の二次林、人工林が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政界でもある尾根部が約120年生の高齢林 ・上記以外は約40年生の二次林 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳周辺、沢沿いや尾根部等は概ね90年生以上の高齢天然林 ・上記以外は、30年生前後の二次林、40～50年生の人工林が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・沢沿いや尾根部等は概ね60年生以上の高齢天然林 ・上記以外は、20～40年生の二次林、40～50年生の人工林が多い

奄美大島に所在する国有林の自然特性等について(2 / 3)

区 分	奄美市(旧名瀬市)	奄美市(旧住用村)	大和村	宇検村	瀬戸内町
主な現存植生	<ul style="list-style-type: none"> ・金作原国有林はスダジイ群落 ・上記以外の国有林はリュウキュウアオイ-スダジイ群集等 	<ul style="list-style-type: none"> ・神屋林木遺伝資源保存林はスダジイ群集 ・上記以外の国有林はリュウキュウアオイ-スダジイ群集、伐跡群落等 	<ul style="list-style-type: none"> ・スダジイ群集 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳周辺の国有林はスダジイ群集等 ・上記以外の国有林はリュウキュウマツ群落、シー-カシ萌芽林等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役勝川上流域の国有林はリュウキュウマツ群落、リュウキュウアオイ-スダジイ群集等 ・嘉徳川の2小団地はリュウキュウアオイ-スダジイ群集等
特定植物群落		<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳東面のスダジイ林(原生的な天然林) 		<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳の山頂植生(希少な植物群落) 	
国有林周辺の所有形態	<ul style="list-style-type: none"> ・金作原国有林には市有林等が隣接 ・上記以外の国有林には市有林、個人有林等が隣接 	<ul style="list-style-type: none"> ・神屋国有林をはじめとする大和村及び宇検村に隣接する国有林には会社有林、市有林等が隣接 ・204林班と210林班の間には会社有林等が所在 ・217林班には会社有林が隣接 ・上記以外の国有林には会社有林、集落有林等が隣接 	<ul style="list-style-type: none"> ・210～212林班(旧住用村)には会社有林が隣接 ・230林班には集落有林、村有林等が隣接 	<ul style="list-style-type: none"> ・河内川中下流域の国有林には村有林、集落有林等が隣接 ・上記以外の国有林には集落有林等が隣接 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落有林、会社有林等が隣接
主な希少植物種の生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・金作原国有林では、奄美群島重要生態系地域調査(鹿児島県;平成15～17年度)において指標植物14種中2種(オオバカンアオイ、ミヤビカンアオイ)の生育を確認 ・このほか、金作原国有林の湿地では、マルミスブタ等数種の生育を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・神屋国有林をはじめとする大和村及び宇検村に隣接する国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標植物14種中4種(アマミクサアジサイ、オオバカンアオイ等)の生育を確認。このほか、多数の希少種の生育を確認 ・八津野国有林に隣接する217林班には、樹幹や岩上に希少なラン科植物やケラマツツジ、コケタンポポが生育するなど、多数の希少種の生育を確認 ・上記以外の国有林でも、ヤナギスブタ、ミヤビカンアオイ等数種の生育を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・奄美群島重要生態系地域調査において指標植物14種中5種(アマミカジカエデ、アマミテンナンショウ等)の生育を確認。このほか、多数の希少種の生育を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・湯湾岳周辺の国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標植物14種中5種(アマミカジカエデ、アマミテンナンショウ等)の生育を確認。このほか、多数の希少種の生育を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・役勝川上流域の国有林内では、奄美群島重要生態系地域調査において指標植物14種中1種(カケロマカンアオイ)の生育を確認。このほか、当該国有林内には、樹幹や岩上に希少なラン科植物やケラマツツジ、コケタンポポが生育するなど、多数の希少種の生育を確認

奄美大島に所在する国有林の自然特性等について(3 / 3)

区 分	奄美市(旧名瀬市)	奄美市(旧住用村)	大和村	宇検村	瀬戸内町
主な希少動物種の生息状況	<p>・金作原国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中7種(アマミトゲネズミ、リュウキュウアユを除く)の生息を確認。このほか、アカヒゲ、カラスバトの生息を確認</p> <p>・加えて、金作原国有林内の常緑広葉樹林ではケナガネズミの、渓流域ではアマミハナサキガエルの、それぞれ生息を確認</p>	<p>・神屋国有林をはじめとする大和村及び宇検村に隣接する国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中8種(リュウキュウアユを除く)の生息を確認。このほか、多数の希少種の生息を確認</p> <p>・八津野国有林に隣接する217林班では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中8種(アマミヤマシギを除く)の生息を確認。このほか、アカヒゲ、カラスバト、ケナガネズミ、アマミハナサキガエル、イシカワガエルの生息を確認</p> <p>・上記以外の国有林でも、奄美群島重要生態系地域調査において多くの指標動物種の生息を確認。このほか、アカヒゲ、カラスバト、ケナガネズミ、アマミハナサキガエル、イシカワガエルの生息を確認</p>	<p>・奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中4種(アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ等)の生息を確認。このほか、アカヒゲ、カラスバト、ケナガネズミ、イシカワガエルの生息を確認</p>	<p>・湯湾岳周辺の国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中8種(イボイモリを除く)の生育を確認。このほか、アカヒゲ、カラスバト、ケナガネズミ、アマミハナサキガエル、イシカワガエルの生息を確認</p> <p>・上記以外の国有林では、アカヒゲ、オーストンオオアカゲラ、カラスバト、ルリカケス等の生息を確認。このほか、上記以外の国有林の常緑広葉樹林ではアマミノクロウサギ、ケナガネズミの、渓流域ではイシカワガエル、オットンガエルの、それぞれ生息を確認</p> <p>・河内川及びその支流では、リュウキュウアユ、キバラヨシノボリの生息を確認</p>	<p>・役勝川上流域の国有林内では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中8種(アマミヤマシギを除く)の生育を確認。このほか、アカヒゲ、カラスバト、ケナガネズミ、アマミハナサキガエル、イシカワガエルの生息を確認</p> <p>・上記以外の国有林では、アカヒゲ、オーストンオオアカゲラ、カラスバト、ルリカケス等の生息を確認。このほか、上記以外の国有林の常緑広葉樹林ではアマミノクロウサギ、ケナガネズミ等の、渓流域ではイシカワガエル、オットンガエルの、それぞれ生息を確認</p>
マングースの生息分布	国有林全てにマングースが生息	住用川の右岸側に所在する国有林にはマングースが生息	国有林全てにマングースが生息	湯湾岳周辺の国有林にはマングースが生息	住用川の右岸側に所在する国有林(217林班等)にはマングースが生息
ノヤギの生息分布	国有林には未生息	国有林には未生息	国有林には未生息	国有林には未生息	国有林には未生息
マツ枯れの被害分布	金作原国有林は被害エリア外。それ以外の国有林は被害エリア内に含まれる	神屋国有林をはじめとする大和村及び宇検村に隣接する国有林等は被害エリア外。それら以外の国有林は被害エリアに含まれる	国有林は全て被害エリア外	湯湾岳周辺の国有林(230林班)を除いて、国有林は概ね被害エリアに含まれる	国有林は全て被害エリアに含まれる

【 参考資料 】 奄美大島に所在する国有林に生息・生育している希少動植物種について

区 分	奄美市(旧名瀬市)	奄美市(旧住用村)	大和村	宇検村	瀬戸内町
希少植物種	<p>【指標植物】オオバカンアオイ、ミヤビカンアオイ</p> <p>【その他】アマミザンショウ、ホソバハマセンダン、マルミスブタ、モダマ、ヤナギスブタ、リュウキュウハナイカダ</p>	<p>【指標植物】アマミクサアジサイ、アマミテンナンショウ、オオバカンアオイ、グスクカンアオイ、フジノカンアオイ、ミヤビカンアオイ</p> <p>【その他】アマミアワゴケ、アマミエビネ、アマミカタバミ、アマミスミレ、アマミセイシカ、アマミデンダ、アワムヨウラン、エンレイショウキラン、オオオサラン、オサラン、カゲロウラン、カシノキラン、カンザシワラビ、キバノセッコク、クスクスラン、ケイタオフウラン、ケラマツツジ、コケタンポポ、コバノアマミフユイチゴ、コビトホラシノブ、サガリラン、サクライソウ、シコウラン、シマウリカエデ、シマサルスベリ、シマシュスラン、タカツルラン、チケイラン、ツルラン、トクサラン、ナギラン、ナゴラン、ハルザキヤツシロラン、ヒメキセワタ、ヒメサギゴケ、ヒメトケラン、ヒメミヤマコナスビ、ヒモラン、ハウサイラン、ホソバハマセンダン、ホンゴウソウ、マメツタラン、マルミスブタ、ムカゴサイシン、ヤクシマアカシユスラン、ヤクシマヒメアリドオシラン、ヤドリコケモモ、ヤナギスブタ、ユウレイラン、ヨウラクヒバ、ラハオシダ、リュウキュウサギソウ、リュウキュウスズカケ、リュウキュウハナイカダ、リュウキュウヒモラン、レンギョウエビネ、ワラビツナギ</p>	<p>【指標植物】フジノカンアオイ、ミヤビカンアオイ</p> <p>【その他】アキザキナギラン、アツイタ、アマミアオネカズラ、アマミイケマ、アマミイワウチワ、アマミカタバミ、アマミスミレ、アマミヒイラギモチ、アマミフユイチゴ、オオシマガマズミ、オオタニワタリ、オキナワウラジロガシ、キクシノブ、クロホシクサ、ケラマツツジ、コケセンボンギク、コゴメキノエラン、サツマオモト、シマサルスベリ、タイワンショウキラン、チャボイナモリ、ヒメウラボシ、ヒメカカラ、ヒロハタマミズキ、ハウサイラン、ホザキザクラ、ホンゴウソウ、マツバラ、ミヤマシロバイ、ユワンオニドコロ、ユワンツチトリモチ、リュウキュウアセビ、リュウキュウウマノスズクサ、リュウキュウハナイカダ、ワラビツナギ</p>	<p>【指標植物】アマミカジカエデ、アマミテンナンショウ、ウケユリ、フジノカンアオイ、ミヤビカンアオイ</p> <p>【その他】アキザキナギラン、アツイタ、アマミアオネカズラ、アマミイケマ、アマミイワウチワ、アマミカタバミ、アマミスミレ、アマミヒイラギモチ、アマミフユイチゴ、オオシマガマズミ、オオタニワタリ、オキナワウラジロガシ、キクシノブ、クロホシクサ、ケラマツツジ、コケセンボンギク、コゴメキノエラン、サツマオモト、シマウリカエデ、シマサルスベリ、タイワンショウキラン、チャボイナモリ、ヒメウラボシ、ヒメカカラ、ヒロハタマミズキ、ハウサイラン、ホザキザクラ、ホンゴウソウ、マツバラ、ミヤマシロバイ、ユワンオニドコロ、ユワンツチトリモチ、リュウキュウアセビ、リュウキュウウマノスズクサ、リュウキュウハナイカダ、ワラビツナギ</p>	<p>【指標植物】カケロマカンアオイ</p> <p>【その他】エンレイショウキラン、オサラン、キバノセッコク、クスクスラン、ケラマツツジ、コケタンポポ、シコウラン、チケイラン、ツルラン、ナギラン、ヒメキセワタ、ハウサイラン、ホンゴウソウ、マメツタラン、ヤドリコケモモ、ヨウラクヒバ、リュウキュウスズカケ、リュウキュウハナイカダ、レンギョウエビネ</p>
希少動物種	<p>【指標動物】アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ、オオトラツグミ、オーストンオオアカゲラ、ルリカケス、イボイモリ、オットンガエル</p> <p>【その他】ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバト、アマミハナサキガエル</p>	<p>【指標動物】アマミトゲネズミ、アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ、オオトラツグミ、オーストンオオアカゲラ、ルリカケス、イボイモリ、オットンガエル</p> <p>【その他】ケナガネズミ、ワタセジネズミ、アカヒゲ、カラスバト、アマミハナサキガエル、イシカワガエル、アカボウスハゼ、キバラヨシノボリ、ヨロイボウスハゼ</p>	<p>【指標動物】アマミトゲネズミ、アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ、オオトラツグミ、オーストンオオアカゲラ、ルリカケス、イボイモリ、オットンガエル</p> <p>【その他】ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバト、イシカワガエル</p>	<p>【指標動物】アマミトゲネズミ、アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ、オオトラツグミ、オーストンオオアカゲラ、ルリカケス、イボイモリ、オットンガエル、リュウキュウアユ</p> <p>【その他】ケナガネズミ、ワタセジネズミ、アカヒゲ、カラスバト、アマミハナサキガエル、イシカワガエル、キバラオシノボリ</p>	<p>【指標動物】アマミトゲネズミ、アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ、オオトラツグミ、オーストンオオアカゲラ、ルリカケス、イボイモリ、オットンガエル、リュウキュウアユ</p> <p>【その他】ケナガネズミ、ワタセジネズミ、アカヒゲ、カラスバト、アマミハナサキガエル、イシカワガエル</p>